

★外国人と区長のタウンミーティングで寄せられた主な意見
テーマ：外国人の地域参加について
開催日：令和6年10月23日（水）
◎地域参加への課題、地域参加しやすくなる方法
・地域に知り合いがいない外国人にとって、一人で地域参加するハードルが高いように感じる。参加の仕方の紹介や、一緒に参加する外国人をつなげてくれるような仕組みがあるといい。
・いつ、どこで、どんなイベントを行われているかわからない。外国人も情報を受け取りやすいように、SNSを活用して様々な手段で情報を発信して欲しい。
・イベントのチラシや情報を見ても、実際の様子がわからないと参加しづらい。イベントの様子が分かるような写真や動画を使ったり、参加要項に「外国人の参加も歓迎」などの案内があると、参加しやすい。
・地域参加に興味があっても、自発的に参加する外国人は少ない。町会などの地域住民から外国人に参加を促してもらったり、行事に参加したい外国人と、外国人と交流したい地域の人がマッチングするような仕組みがあるといいのでは。
◎やってみたいこと、イベント
・日本人と交流しながら、日本の料理を習ったり、世界の料理を教えることができる料理教室のような行事が定期的にあると、良い文化交流になる。
・中野区はサブカルチャーの文化が浸透しているので、これをテーマにしたイベントや交流ができる場があると良い。
・日本語学校に通っている人も、日本語教室のような場で学校や職場以外の様々な世代の人と学びや交流をしたい。日本語教室をもっと色々な人が参加できる開かれた場にしてほしい。
◎コミュニティ作りについて
・単発の交流会が多く、参加しても一度話ただけで終わってしまうことが多い。より深い関係を持てるように、同じ年代や同じ趣味をもつ人と定期的に交流することのできる場が欲しい。
・対面での講座やイベントのほか、オンラインで、ゆっくりと地域の方々などと交流する機会がほしい。
◎その他
・初めて日本に来た時、多少日本語を話せても、手続きのため区役所に電話するのはかなり抵抗感があった。メールやチャットボットなど、電話以外の気軽な情報収集や連絡の手段を充実させてほしい。
・食事のマナーや事故にあったときの対応など、日本で当たり前のことや文化を知る機会が少ない。行政の手続き以外の日本での生活について、学ぶ機会があるといい。
・病院やおすすめの飲食店、行事など、外国人向けに中野区を紹介するようなガイドマップやアプリがあると、まちに出たり地域に参加するきっかけになる。